

家庭

1 学年：週 2 時間 2 学年：週 2 時間 3 学年：週 2 時間

■目標

○生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実質的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ・家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）
- ・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（思考力、判断力、表現力等）
- ・家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）

■学習内容

＜家族・家庭生活＞	①自分の成長と家族や家庭生活などに関わる学習 ②家族との触れ合いや地域の人々と接することなどに関わる学習 ③家庭生活における健康管理や余暇に関わる学習 ④乳幼児や高齢者と接することなどに関わる学習 【具体的な内容】 ①自分の成長と家族や家庭生活との関わり、家族の協力、家族とのよりよい関わり方、表現、工夫 ②地域の人々との協力、家族と地域の人々とのよりよい関わり方、表現、工夫 ③健康管理や余暇の有効な過ごし方、表現、工夫 ④乳幼児や高齢者などの生活の特徴、乳幼児や高齢者などとの関わり方、乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方、表現、工夫
＜衣食住の生活＞	①食事の役割に関わる学習 ②自分に必要な栄養を満たす食事に関わる学習 ③日常食の調理に関わる学習 ④衣服の選択に関わる学習 ⑤衣服の手入れに関わる学習 ⑥布を用いた製作に関わる学習 ⑦住居の基本的な機能や快適で安全な住まい方に関わる学習 【具体的な内容】 ①生活の中で食事が果たす役割、健康によい食習慣 ②自分に必要な栄養素の種類と働き、食品の栄養的な特質、一日分の献立、工夫 ③用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方、基礎的な日常食の調理、工夫 ④衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択、工夫 ⑤衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ、工夫 ⑥目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱い、製作に必要な材料や手順、製作計画、工夫 ⑦家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能、家族の安全や快適さを考えた住空間、住空間の整え方、工夫
＜消費生活・環境＞	①消費生活に関わる学習 ②消費者の基本的な権利と責任に関わる学習 【具体的な内容】 ①購入方法や支払方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性、売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応、物資・サービスの選択に必要な情報、情報の収集、整理、工夫 ②消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響、責任ある消費行動、表現、工夫

■評価の方法

＜知識及び技能＞

- ・授業中の発言、様子
- ・ワークシートの記述、回答

＜思考力、判断力、表現力＞

- ・授業中の発言、様子
- ・ワークシートの記述、回答

＜学びに向かう力、人間性＞

- ・授業中の発言、様子
- ・自らの生活に生かそうとする態度

■生徒へのメッセージ

卒業後、自立した生活を送るために必要な事柄（衣食住に関わること、家庭・家族生活、金銭管理、消費トラブルなど）について学習します。学校で学んだことを卒業後だけではなく今から取り組むことでより生活する力が身に付きます。学んだことを学校生活、家庭生活で実践しながら身に付けていきましょう。

18才から成人です。消費トラブルやクレジットカードなどについて知り、自分の身を守る方法を身に付けましょう。